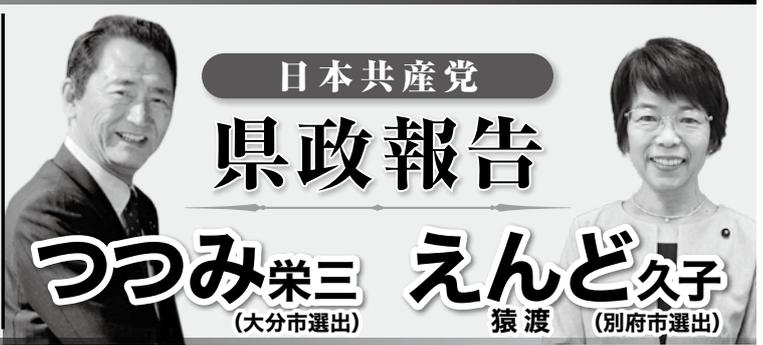


2024年の一年間は、県民の皆さんの意見や要望を取り上げ、その実現を求めてきました。この一年もその立場で頑張っていきます。

第4回定例会県議会が11月27日から12月13日まで開会され、つつみ栄三県議が議案質疑を、えんど久子県議が最終日討論を行いました。

日本共産党大分県議団



つつみ栄三県議 議案質疑で求める



今回の定例会は、災害復旧対策と国の経済対策を受けて、2つの補正予算が提案されました。

厳しい冬の寒さ対策として

福祉灯油助成制度を

つつみ栄三県議は、日本共産党中部地区委員会が行った市民アンケートによせられた「年金が減り生活が不安」「税金や社会保障の負担が大変」などの声を紹介し、「物価高騰等で生活が困窮している世帯へ灯油代の助成制度を作るべき」と提案しました。

つつみ栄三県議は「国は灯油代の助成へ重点支援地方交付金が使えるところにしている。県としても助成をするべきだ」と求めました。

知事は「寒冷地において検討されるものと考えている」と答弁。



12/6 県議会本会議で質疑するつつみ栄三県議

高齢者の県営住宅1階への 住み替えを

つつみ栄三県議は「県営住宅の上層階に住んでいる高齢者や障がい者は、足腰も弱まり昇り降りが大変だ。希望する場合にはぜひ一階への住み替えができるようすべきだ」と求めました。



12/6 県議会本会議で質疑するつつみ栄三県議

県は「大分市の住み替えの希望者は57人おり、修繕を行えば入居できる住戸は33戸となっている。入居者の希望に可能な限り早期に答えられるよう検討していく」と答弁。

さらに、つつみ栄三県議は「地元の県営住宅で、1階が7戸空いているのに、一戸しか退去修繕し

ないので、そこに4人も希望者が待っている。困っている高齢者4人が入れるように早急に対応すべきだ」と強く求めました。

日本製鉄のばいじんの対策強化を

つつみ栄三県議は、「ばいじん公害をなくす会・大分」が実施したアンケート活動を紹介し、対策強化を求めました。

「窓や網戸がよごれる」「目がざらざらする」「咳やタンがよく出る」などの不安を訴える声を紹介し、「近隣住民の声を真

赤旗 (2024.12.13 付)

日鉄大分

ばいじん公害なお深刻

住民アンケート 被害実態びっしり

なくす会 根絶へ活動

軒下 干し柿 真っ黒に せき・たん 止まらない

撃に受け止め、さらなる低減を目指して大分市と共同して指導・対策強化をするように」と求めました。

県は「今後の公害防止協定に基づき、さらなる低減対策が実施されるよう求めていく」と答弁。

また「令和5年に12回、令和6年には13回立ち入り調査を実施した」とも明らかにしました。



「ばいじん公害をなくす会 大分」総会にてつつみ栄三県議

つつみ栄三県議は、「自分も日本製鉄の背後地に住んでいる。アンケートに寄せられた声は自分も感じている。企業として対策を講じているのは理解するが、抜本的な対策強化を強く指導すべきである」と求めました。

大分県とは昨年12月26日に、平和委員会の皆さんと「日英・日米軍事演習中止」の要望と協議を、また防衛省に対しても、オンラインで田村貴昭衆議院議員や湯布院など現地の皆さんも交え協議を行いました。

大分県との協議では、九州防衛局に対し大分県知事や由布市長など4県市町で、「早期かつ適切な情報開示や安全管理の徹底、陸上自衛隊との日出生台演習場の使用協定に関する協定の遵守」な



12/26 県へ要望

日英・日米軍事演習中止を県や国に申入れ

「どこの国の防衛省か」と怒りの声

防衛省へのオンライン申請では、演習場の使用協定（夜間砲撃訓練の自粛等）の遵守などを求めました。

ど要請したことを明らかにしました。

参加者からは「日出生台で1月15日から日英軍事演習が行われ、その後にくぐ海兵隊の実弾射撃訓練が行われることは、訓練の拡大そのものであり中止を強く国に求めるべき」。「沖縄で少女暴行事件等が起き、現地は大きな不安を抱えている。外出等は規制するように外国軍に求め、情報開示を徹底するように」などの声が出されました。

現地から「なぜ日出生台で訓練を行うのか」「夜間訓練はどうなっているのか」など、心配の声が聞かれました。

防衛省は「夜間訓練については可能な限り生活に配慮した時間とし、飛行機の使用は午後8時までに終わるとしている」と答えました。地元的不安を払しょくするような答弁はなく、参加者からは「一体どこの国の防衛省か」と怒りの声も聞かれました。

大分県議団として地元や平和団体の皆さんと共同し、議会でも取り上げ軍事演習中止の取り組みを強めていきます。

大分県議会
インターネット中継

令和6年第4回定例会
12月6日
本会議 質疑

各議案に対する態度

	日本共産党	自由民主党	県民クラブ	公明党	志士の会	無所属の会	日本維新の会	採決										
議案	2025年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	台風10号被害対策として災害復旧工事の補正予算や、LPガスの助成や特別高圧契約の中小企業への支援策があり賛成									
	大分県産業廃棄物条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	産業廃棄物の排出抑制、再生利用推進のために産廃税の期限をさらに5年延長する改正なので賛成									
	保護施設等の設置・運営のための条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	入居者の状況に応じた支援計画作成するようになったので賛成									
	議員や特別職、職員などの給与に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	×	○	3面えんど久子県議の討論参照								
意見書									バカンス法の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	多くの県民が長期休暇を取れるために最低賃金の引き上げと労働時間規制、年金等の引き上げが必要である。それらを実現させることを前提として賛成

・**教員確保のためにも** 学費の負担が重く教員不足の中で大分県で教員になれば奨学金の返済に支援が受けられるなどの制度が必要ではないか。

・**学生にも生理休暇を** 学生にも生理休暇があればよいという声があるが、考えるべきではないか。

・**人材不足の中で** 持病がある人などにも無理なく働く場が必要ではないか。

・**物価高の支援策を手厚く**

中小業者やLPガスへの支援をもっと手厚く。LPガス代への助成は1回限り1600円では少なすぎる。

・**賃上げのための中小業者への支援策**

先端設備導入などに偏ることなく幅広い支援が必要。

えんど久子県議はこれらについて発言しました。



12/13 県議会本会議で討論するえんど久子県議

の は ど 提 の ボ 事 職
本 12 久 案 アー ナ 事 員
会 月 子 され ア ッ ナ の 等 や
議 日 議 えん ま が が 等 の 知

知事や県議会議員への 期末手当引き上げに反対

職員や知

で、地域経済浮揚のためにも、職員や会計年度任用職員の給与等のさらなる引上げを主張しました。本改正部分には賛成します。

知事や県議会議員のボーナスの引上げの提案については、多くの県民が物価高騰で苦しんでいる中、反対しました。



12/10 飲酒運転根絶めざしPR活動するえんど久子県議

大分県議会
インターネット中継

令和6年第4回定例会
12月13日
えんど久子の討論



四国への橋もトンネルもいらない

えんど久子県議 県議会で主張



四国の佐田岬と佐賀関を橋やトンネルでつなごうという豊予海峡ルート構想。佐藤知事は意欲満々で県庁内にプロジェクトチームを作りました。何兆円かかるかわからない事業です。

県民が望んでいないのに

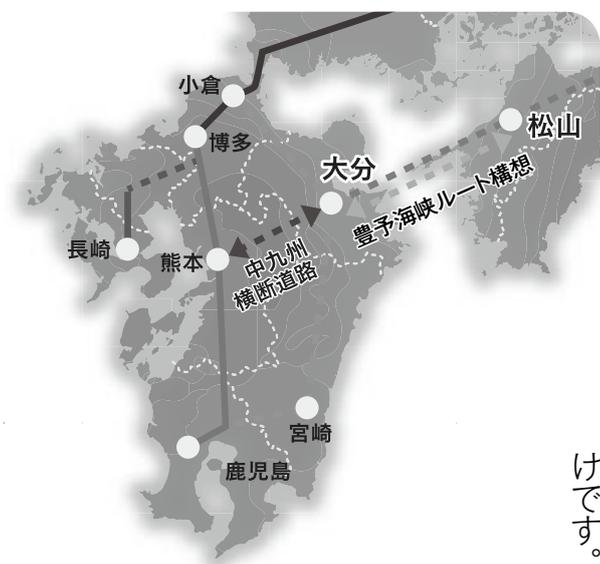
12月10日の総務企画委員会で、えんど（猿渡）久子県議の質問に、広域交通ネットワークのシンポジウムなど機運醸成に今年度は約1800万円の税金を使うと答弁。

災害時に使えるの？

知事は、東九州新幹線と豊予海峡ルートの広域交通ネットワークは地域産業の発展や災害時の代替ルート確保などのために必要だといいますが、県民が望んでいないことに税金と労力をかけて機運を作ろうなんてナンセンスです。

子や孫に借金を残す

えんど久子県議は「県民が求めているが予算が確保できない課題が山積みだ。県民の願いの実現が優先だ」



日本共産党はキッパリ反対

「建設すれば維持管理や補修にも大変な税金がかかり、将来世代に借金を残すことになる」と発言。

この日、自民党議員からは豊予海峡ルートより東九州新幹線を優先すべきという主旨の発言がありました。

県議会で豊予海峡ルートについて与党議員から財政を心配する発言が聞かれますが、キッパリ反対を表明しているのは日本共産党だけです。

マイナカードなくても大丈夫です

紙などの保険証は書いてある期限まで使えます。

マイナカード保険証と紐づけしていない人には、期限が切れる前に手続きなしで資格確認書が届き、保険証と同じように使えます。病院も心配いりません。マイナカードの登録をやめれば資格確認書ももらえます。

日本共産党は紙などの保険証を残すために今後ともみなさんとちからをあわせてがんばります。



12/9 県議会文教警察委員会で発言するえんど久子県議

